

# プロの条件

今の世の中、プロとアマチュアの区別がつきにくくなっているのが現状です。

私達、住まい（家づくり）に携わるということは、建て主の貴重な財産を預かる仕事に携わっているのですからプロを目指さなければならないと思います。

藤尾秀昭氏 著『小さな人生論』より抜粋してみます。

**FORZA** 青木徹也

## 1 「プロ」は「自分で高い目標を立てられる人」

---

自分なりにほどほどにやればいい。この程度でいいだろう。と、目標をできるだけ低く設定しようとするのがアマチュアである。プロフェッショナルは違う。プロは自分で高い目標を立て、その目標に責任を持って挑戦していこうとする意欲を持っている。

## 2 約束を守る

---

約束を守るというのは、成果を出すということである。

自分に与えられた報酬にふさわしい成果をきっちりと出せる人、それがプロである。成果を出せなくても、なんの痛みも感ぜず、やれなかった弁解を繰り返してやり過ぎそうとする者がいる。アマの典型である。

## 3 「準備をする」プロは「絶対に成功する」という責任を自分に課している

---

絶対に成功する為には徹底して準備をする。準備に準備を重ねる。自分を鍛えに鍛える。そうして勝負（契約など）の場に挑むからプロは成功する。アマは準備らしい準備はほとんどせず、まあ上手くいけば勝てるだろうと、安易な気持ちで勝負に臨む。この差が勝敗の差となって表れてくるのである。

表現をかえると、プロは寝てもさめても考えている人である。起きている時間だけではない。寝ていても夢の中にまで出てくる。それがプロである。少しは考えるが、すぐに他のことに気を取られて忘れてしまうのが、アマの通弊である。

## 4 進んで代償を支払おうという気持ちを持っている

---

プロであるためには高い能力が不可欠である。その高い能力を獲得するためには、時間とお金と努力を惜しまない。犠牲をいとわない。代償を悔いない。犠牲をけちり、代償を渋り、自己投資を怠る人は、絶対にプロにはなれない。